

タイトル	11. 自分の思いを伝える
------	---------------

ねらい 成果	アサーショントレーニングを、伝え方という切り口で学ぶ。様々な場面で、自分の気持ちや意見を伝えなければならない時に、どのように表現するか。3つの伝え方の違いを理解して、その場にあった伝え方ができるようにする。
-----------	---

	時間	ねらい/目標	活動内容/問い プリント 形態 手法
1	05	前回はふりかえり、今回のテーマを提示する。	プリント 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・話すこと、聞くことの大切さと難しさ。
2	20	自分の思いを伝えたい場面を思い出す	形態 5人組 プリント 『自分の思いを伝える』 (1) 『自分の思いを伝える』を配布する。 (2)最近あった場面を1つ選び、その時の様子を6つの観点から思い出す。(3分) (3)4～5人組になる。 (4)順番に、1人2分で話す。他の人は、アクティブリスニングで質問しながら聞く。
3	20	伝え方の3つのパターンについて理解する。 自分の伝え方の特徴を理解する。	形態 2人組 プリント 『3つの伝え方チェック』『3つの伝え方』『何の映画を見る?』 (1) 『3つの伝え方チェック』を配布する。 (2)回答させ、集計させる。 (3) 『3つの伝え方』を配布する。 (4) aをディフェンシブ、bをアグレッシブ、cをアサーティブと呼ぶことを説明する。 (5)それぞれの、特徴・自分の気持ち・相手の気持ち・行動・態度・留意点を説明する。 (6)2人組になって、次の状況でどのように対応するかやってみる

			<p>「Xと映画を見ようと待ち合わせをしました。見る映画は決めていませんでした。Xが先にホラー映画が見たいと言いました。あなたはホラー映画が苦手で、ラブ・ストーリーがいいと思っていますが、言いおくれてしまいました。」</p> <p>(7)感想を話し合う。</p> <p>(8)『何の映画を見る?』を配布する。</p> <p>(9)XとYの役割を固定して、3つのパターンをロールプレイする</p> <p>(10)交替してする。</p> <p>(11)どの伝え方がしやすかったか、それぞれの感想を話し合う。</p> <p>(12)全体で感想を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出てきた感想を板書して、特徴をまとめる。
4	20	どんな場面でどんな伝え方が適切かを考える。	<p>プリント 『こんな時どうする?』『自分の思いを伝える』</p> <p>(1)必ずしもアサーティブで伝え方が良いわけではなく、その場に応じた伝え方が大切であることを説明する。</p> <p>(2)『こんな時どうする?』を配布する。</p> <p>(3)回答させ、小計させる。</p> <p>(4)解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～③は、自分を守るため、人に迷惑をかけないために、しっかり伝える。時にはアグレッシブになってもかまわない。 ・④～⑥は、自分が不利になるが、我慢するつもりならディフェンシブになってもかまわない。 ・⑦～⑨は、ディフェンシブに放っておいても大きな問題にはならないが、改善するためにはアサーティブに伝えたいほうがよい。 ・⑩～⑫は、ディフェンシブに何もしない方が普通だが、アサーティブに伝えるとよりよい状態になる。 <p>(5)『自分の思いを伝える』を配布する。</p> <p>(6)思いの伝え方の心構え、手順、ポイントを説明する。</p> <p>(7)上手な頼み方/断り方、上手な怒り方/謝り方を説明する。</p>
5	20	いくつかのシナリオで場面を設定して、ロールプレイ	<p>プリント 『伝える場面カード』</p> <p>(1)『伝える場面』を配布する。</p> <p>(2)生徒を指名して、教師がデモンストレーションをする。</p>

		をする。	(3) 4 ~ 5人組になる。 (4) グループの中で、場面を選び、生徒同士でロールプレイをさせる。
05	05	本時をふりかえる。	<u>プリント</u> 『ふりかえりシート』 (1) 本時のふりかえりを書かせる。 半分以上書くこと。

準備	『自分の思いを伝える』『3つの伝え方チェック』『3つの伝え方』『何の映画を見る?』『こんな時どうする?』『自分の思いを伝える』『伝える場面カード』		
----	---	--	--

Voice

11. 自分の思いを伝える

9月1日

生徒の満足度

満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数	6	2	4	3	1	2		1		

生徒の感想

①自分のタイプがわかって楽しかった。ディフェンシブではなさそうだ。②めっちゃ難しい内容だった。自分の気持ちも相手の気持ちも大事にしたいです。③内容が前より難しかったように思いました。相手のことを考えるのは難しいと思いました。④謝り方とか人によってどうやって謝ったらいいか難しい時があるけど、ちょっと分かった気がした。人の気持ちを考えて行動するのがいいけど、自分の思いを伝えるのも大切だと思った。⑤普段本当に起こりそうなシチュエーションで困った。私ならこうするという意見をみんなで言い合えてよかった。⑥すごく楽しかった。まずいろいろなテーマがあったことで話がはずんだし、人の対応を聞くのも楽しかった。⑦自分はディフェンシブタイプだった。前から少しは自覚していた所はあった。⑧自分でもわかっていたようにディフェンシブだった。自分が傷ついても相手が傷つかなかったらいいかと思っているからそうなのかなあと思った。⑨謝り方や礼儀とか分かった。断る時はキッパリ断りたい。⑩相手に自分の思いを伝えるのは難しいと思いました。私ははっきりと自分の思いを伝えることができないので伝えられるようになりたいです。⑪頼む時や断る時に相手が嫌な思いを感じないように言うのが大事だと思った。

教師の感想

直前に導入のシートを付け加えたりして、明らかに準備不足だった。今回のワークはなかなかプログラムを立てにくかった。ワークシートを何回も作り直したりして、今の生徒に合うようにアレンジしている内に時間が経過してしまった。だから、導入部分が弱かった。直前のシートを加えたことで少しは改善されたが、根本的に、夏休み明けで暑くてという悪条件の中で、十分な動機付けが出来ないまま始めてしまうという失敗だった。いきなり最近あった体験を話せといわれても無理である。実際、僕自身も適切な例を提示できなかった。授業者がそんな状態なのだから、ましてや生徒はいきなり言われても困惑するのは当然である。ワークとしては基本から間違っている。特に今回のアサーション系のワークは生徒のモチベーションにかかっているのだから、入念な導入が必要であった。と後悔しても先に立たず、途中で僕がロールプレイのデモンストレーションをしたりして、無理やりテンションを上げた。生徒も優しく、強引なプログラムに耐えてくれた。でも正直に参加しきれない生徒もいて、反省仕切りだった。